Infectious Diseases Weekly Report
iDWR HIROSHIMA City
2026年第37週（9月7日～9月13日）

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1　インフルエンザ

定点当たり3.00人の報告があり、増加傾向です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が第37週に1件報告されました。全国でも増加が続いており、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。（次ページ参照）

> 迅速診断キット検査結果（市内2か所の協力医療機関による）
> 第37週　A型：10人、B型：0人

2　新型コロナウイルス感染症（COVID−19）

定点当たり1.97人と、前週の約2.6倍に増加しました。全国でも増加が続いており、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を心がけましょう。

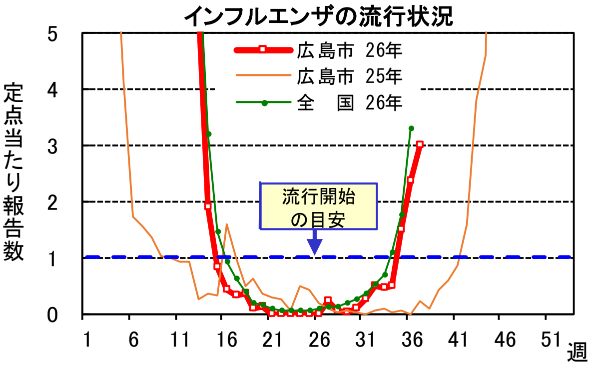
3　感染性胃腸炎

定点当たり5.48人の報告があり、多い状況です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

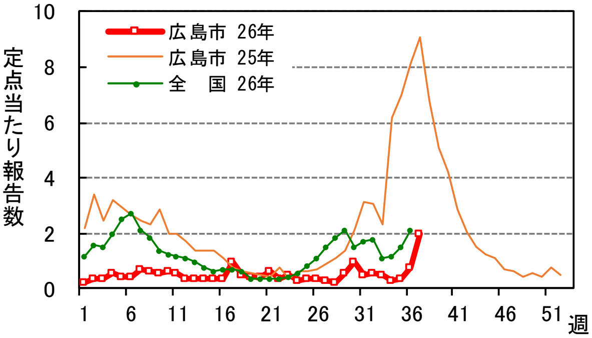
4　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり1.38人の報告があり、前週と比べて増加しました。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



新型コロナウイルス感染症（COVID−19）の流行状況



■定点把握感染症報告状況（週報対象）

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均（注）	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症（ARI）	1820	53.53	／	⇗
ARI	インフルエンザ	102	3.00	0.50	⇗
ARI	新型コロナ（COVID−19）	67	1.97	／	⬆
小児科	RSウイルス感染症	10	0.48	0.79	
小児科	咽頭結膜熱	8	0.38	0.18	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.38	1.42	↗
小児科	感染性胃腸炎	115	5.48	2.73	⇗
小児科	水痘	5	0.24	0.11	
小児科	手足口病	15	0.71	1.59	⇘
小児科	伝染性紅斑	−	−	0.40	
小児科	突発性発しん	7	0.33	0.35	
小児科	ヘルパンギーナ	12	0.57	0.76	
小児科	流行性耳下腺炎	−	−	0.03	
眼科	急性出血性結膜炎	−	−	−	
眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.90	
基幹	細菌性髄膜炎	−	−	−	
基幹	無菌性髄膜炎	−	−	0.03	
基幹	マイコプラズマ肺炎	−	−	1.89	
基幹	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	−	−	−	
基幹	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	−	−	−	

急増減	⬆	⬇	前週と比較しておおむね1：2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1：1.5～2の増減
微増減	⇗	⇘	前週と比較しておおむね1：1.1～1.5の増減
横ばい	⇒		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	93	60歳代、70歳代、90歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	52	20歳代・O157、30歳代・O157
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	8	80歳代
5	梅毒	1	88	20歳代

■定点把握感染症報告状況（週報対象）の推移

			急性呼吸器感染症（ARI）	インフルエンザ	新型コロナ（COVID-19）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）
報告数	広島市	第33週	651	13	13	15	3	15	34	3	15	1	−	−	−	−	−	−	1	6	−	−
		第34週	1,176	17	9	4	8	16	82	3	28	−	7	10	−	−	4	−	−	1	−	−
		第35週	1,331	51	13	6	5	30	92	3	25	3	7	12	1	−	5	−	−	1	−	−
		第36週	1,512	81	26	6	3	15	98	4	20	−	2	12	1	−	5	−	−	5	−	−
		第37週	1,820	102	67	10	8	29	115	5	15	−	7	12	−	−	3	−	−	−	−	−
定点当たり	広島市	第33週	22.45	0.45	0.45	0.88	0.18	0.88	2.00	0.18	0.88	0.06	−	−	−	−	−	−	0.17	1.00	−	−
		第34週	34.59	0.50	0.26	0.19	0.38	0.76	3.90	0.14	1.33	−	0.33	0.48	−	−	0.50	−	−	0.17	−	−
		第35週	39.15	1.50	0.38	0.29	0.24	1.43	4.38	0.14	1.19	0.14	0.33	0.57	0.05	−	0.63	−	−	0.17	−	−
		第36週	44.47	2.38	0.76	0.29	0.14	0.71	4.67	0.19	0.95	−	0.10	0.57	0.05	−	0.63	−	−	0.83	−	−
		第37週	53.53	3.00	1.97	0.48	0.38	1.38	5.48	0.24	0.71	−	0.33	0.57	−	−	0.38	−	−	−	−	−
	全国	第35週	40.49	1.76	1.47	0.79	0.20	1.28	3.68	0.19	2.00	0.03	0.34	0.87	0.05	0.01	0.70	0.02	0.04	0.41	0.01	0.01
		第36週	48.41	3.29	2.08	1.02	0.26	1.38	3.86	0.21	1.73	0.03	0.31	0.96	0.03	0.01	0.65	0.03	0.05	0.40	0.01	0.01

■病原体検出状況（ARIサーベイランス）

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

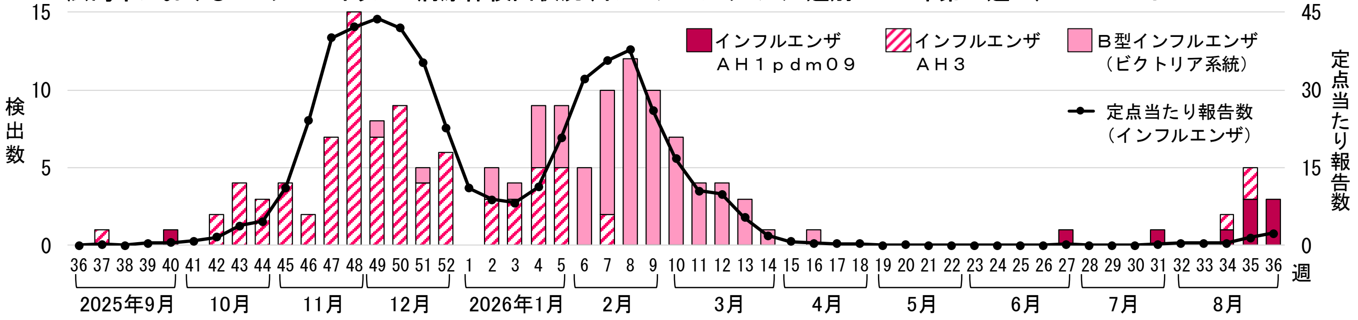
検体採取週	検査検体数	陽性検体数＊	インフルエンザウイルスAH1pdm09	インフルエンザウイルスAH3	B型インフルエンザウイルス（ビクトリア系統）	B型インフルエンザウイルス（山形系統）	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザウイルス1型	パラインフルエンザウイルス2型	パラインフルエンザウイルス3型	パラインフルエンザウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第32週	11	5					1			1			2		1		
第33週	5	5						1	1		1		1		2	1	1
第34週	14	9	1	1						1	2	1			3	2	
第35週	17	15	3	2			2	1			3		3		7		
第36週	17	14	3					1		1			1	1	8	2	3

＊同一検体からの複数ウイルス検出例を含む（検査：広島市衛生研究所）

詳しくはホームページで　広島市　病原体　検索

【参考】インフルエンザウイルス検出状況

広島市におけるARIサーベイランス病原体検出状況（インフルエンザのみ・週別・2025年第36週～）　検査：広島市衛生研究所



2025年10月～2026年1月の流行ピーク前後はA型インフルエンザウイルス（AH3亜型）が多く検出され、2026年2～3月はB型インフルエンザウイルス（ビクトリア系統）が多く検出されました。定点当たり報告数の減少に伴って検出数も減少しましたが、6月末からA型インフルエンザウイルスが検出されはじめました。

広島市でインフルエンザ流行入りが発表された第35週（8月24日～30日）以降は、A型インフルエンザウイルスが8件（AH1pdm09亜型6件、AH3亜型2件）検出されています。

感染予防のため、外出後は流水・せっけんによる手洗いを行い、咳やくしゃみ等の症状のある時はマスクの着用など咳エチケットを心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所　〒733-8650　広島市西区商工センター四丁目１番２号
TEL(082)277-6575　FAX(082)277-5666　E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp